

鹿児島県医師連盟 FAX ニュース・号外

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報を随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL：099-213-1011 FAX：099-213-1012

参院選 尾辻氏が6選（鹿児島選挙区） 比例区は羽生田氏が再選 「一丸となり、全力で闘った」と池田委員長

第25回参院選挙は、7月21日投・開票が行われ、鹿児島選挙区では、鹿児島県医師連盟（池田琢哉委員長）推薦で、自民党現職の尾辻秀久氏（78）が無所属新人の二人を破り、6度目の当選を果たした。

鹿児島選挙区は、尾辻氏のほか、野党統一候補の行政書士、合原千尋氏（39）、元霧島市長の前田終止氏（71）が立候補。尾辻氏は鹿児島県医師連盟が総力を上げて支持したこともあって、29万844票を獲得、次点の合原氏に8万票の差をつけて、見事当選した。

今回の選挙では、県内各地域の郡市医師連盟が尾辻氏の決起集会を開催したほか、きめ細やかな支持活動を展開、尾辻選対の中核となって闘った。尾辻氏は当選後、鹿児島市の事務所で「社会保障を充実させるため、全力を尽くしたい」と述べた。

尾辻氏の連合後援会長も務める池田琢哉委員長は「我々は一丸となって、全力で闘った。尾辻氏には、これからも弱者の側に立つ姿勢を堅持し、人生100年時代の社会保障制度の設計図をつくって欲しい」と語った。

一方、全国比例区では、自民党公認候補で、鹿児島県医師連盟推薦の羽生田俊氏（71）が15万1059票を獲得して、2回目の当選を果たした。羽生田氏は日本医師連盟の組織内候補で、横倉義武委員長を先頭に、組織を挙げて闘った。鹿児島県医師連盟ではサポーター名簿を通じて、医療関係だけではなく地域への浸透も図り、前回にも増して全力で支持拡大に努めた。

羽生田氏の当選について、池田委員長は「すべての人にやさしい医療・介護を提供するための政策に取り組んでほしい」と語った。

（文責：事務局）